

大会名称: 令和7年度 第57回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山県総合体育センター

試合区分: No. A 4 男子 決勝戦

コミッショナー、TO: 富山東高等学校

期 日: 2026(R08)年2月8日(日)

主審: 平澤 明男

開始時間: 14:31

副審: 山内 正隆

終了時間: 16:00

副審: 矢田 伸一

開志国際						○ 75	● 63						北陸				
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F		
4	*	池田 楓真	8		4		1	00	*	カベンゲレ ウイブン ジョナタン	10		5		4		
5	*	高橋 歩路	11	2	1	3		1	*	岩門 和樹	14	2	2	4	3		
6		大瀧 稜真	2		1		2	2		小林 大晃							
7		塩谷 結羽						3	*	大釜 一順	8	1	2	1	2		
8	*	早野 剛	14	1	4	3	2	8	*	高島 蓮和							
9		ジョーンズ 堅太	20	4	4		3	11		小林 尊琉	7	1	1	2			
10		佐藤 大征					2	14		大島 漣斗							
11		佐藤 海音						17	*	緑川 晴斗	4		2				
12		北村 拓己						21		左近充 諒							
13	*	イヘツ グッドラックチネドウ	14	1	5	1	2	26		ファイ ベンジャミン	10		4	2	3		
14		藤田 鈴央						30		島田 弥秋					1		
15	*	アジャック アロング アジャック アロング	6		2	2	3	32		幅岸 日陽							
16		鈴木 奏汰						36		岡川 久温	10	2	2				
17		岩朝 ローマ						37		サリバン 仁							
18		二瓶 路那						73		外山 蒼空							
合計			75	8	21	9	15	合計			63	6	18	9	13		

\* ...スタート

## 戦評

(記録者: 東 良典)

1Q、両チームマンツーマンでスタート。開志国際が#13の速攻で先制。北陸も#00のミドルですぐさま返す。その後、ロースコアの展開が続く。北陸#3が3Pを決め、リズムに乗りたいところ、開志国際#5の3Pが決まる。お互い主導権を奪えず、13-14と北陸がリードして1Qを終えた。

2Q、北陸は#1のフローターや3Pでリードを広げようとするが、開志国際も#9や#13の3Pで追いつく。北陸が5点リードを奪い試合が進む。北陸が留学生のオフェンスリバウンドからの得点でリードを広げ、32-39で前半を終了した。

3Q、追いつきたい開志国際はゴール下でファールをもらい、FTやオフェンスリバウンドから得点。北陸も#3のドライブや#36のミドルで追いつかせない。終盤、開志国際のディフェンスが機能し、パスカットから得点を重ね、リズムを掴む。#4のアシストから#8がゴール下を決め、49-49と同点に追いつき最終クォーターへ突入した。

4Q、流れに乗る開志国際は#9の速攻や3Pで一気に9点リード。苦しくなった北陸も#11や#36の3Pで粘りを見せ、2点差まで戻す。開志国際が#8や#5の3Pで再びリードを奪い、残り3分半で10点リード。最後は開志国際#4が落ち着いてコントロールし、75-63で開志国際が勝利を収めた。

大会名称: 令和7年度 第57回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山県総合体育センター

試合区分: No. B4 男子 3位決定戦 コミッショナー、TO: 高岡商業高等学校

期 日: 2026(R08)年2月8日(日) 主審: 一ノ谷 聡

開始時間: 14:40 副審: 板井 巖

終了時間: 16:04 副審: 柳原 弘彰

<b>北陸学院</b>	○ <b>84</b>	20 1Q 1 22 2Q 20 15 3Q 12 27 4Q 15 -OT1-	● <b>48</b>	<b>東海大諏訪</b>
-------------	----------------	--	----------------	--------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
6		アーロン リビングストーン	2		1		3	0	*	村上 航清	5		2	1	2
7		伊藤 騎士	5	1	1		2	1		藏田 純樹					
13		川俣 蒼太	6	2				2		西村 漣	6		3		
15		池崎 壮希					1	5		久保田 條生					
16	*	小笠原 和真					2	7	*	阿部 勇咲	3	1			3
23	*	水口 朔太郎	10		4	2	2	10		宗雪 友之進	5	1	1		2
24	*	ファディベ バヨ ジョシュア	8		3	2		17		伊藤 大空					
26		京平 悠玖						30		杉本 蒼太	11	3		2	1
29		片岸 将人	5		2	1	2	34	*	高見 奏太郎	4		2		2
37		西川 来輝	8	2	1		3	35	*	向井 奏太					2
55	*	足立 芽生太	10		5		1	41		永長 直也					
56		友寄 快星	10		5			58	*	千田 健太	14		5	4	
62		西垣 尚稀						87		柳沢 行雲					
82	*	藤原 弘大	11	1	3	2		88		大上 創士					
85		池田 優羽斗	9	3			1	99		宮坂 京弥					
合計			84	9	25	7	17	合計			48	5	13	7	12

\* ...スタート

### 戦評

(記録者: 子浦 由大)

1Q、北陸学院ボールでスタート。先制は北陸学院#55のコーナーからのドライブ。北陸学院は堅いディフェンスから流れを作り、開始5分で11-0のラン。東海大諏訪はタイムアウトをとり、タイムアウト明け#30のドライブからファールをもらい、フリースローで1点を返すが、20-1で1Qは終了。

2Q、お互い激しいマンツーマンディフェンスで、ターンオーバーを誘う早い展開になった。東海大諏訪は#58のポストアップを起点に先制すると、北陸学院は#23のフリースローで2点を返す。2Qはお互いに点を取り合い42-21で、北陸学院が21点のリードで前半を終える。

3Q、東海大諏訪#34のトップからのドライブで先制。北陸学院は直後の攻撃で#82のドライブで2点を返して主導権を握らせない。東海大諏訪はピックとポストアップ、北陸学院はハンドオフとピックを起点に点を重ね、57-33で終える。

4Q、北陸学院はディフェンスを2-3ゾーンに切り替える。東海大諏訪はゴールに積極的にアタックしてファールをもらうとともに、ディフェンスでも#7や#8がプレッシャーをかけてターンオーバーを誘い流れを作る。しかし北陸学院も#23のドライブや3Pの連続得点で流れを作る。両チームとも気持ちのこもった激しいディフェンスを見せ、早いゲーム展開であったが、一度もリードを譲らなかった北陸学院が84-48で勝利した。

大会名称: 令和7年度 第57回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山県総合体育センター

試合区分: No. A3 女子 決勝戦

コミッショナー、TO: 富山南高等学校

期 日: 2026(R08)年2月8日(日)

主審: 早川 菜津実

開始時間: 12:20

副審: 吉田 智子

終了時間: 13:55

副審: 柳 風馬

新潟産業大学附属						福井工業大学付属福井									
●						○									
55						82									
16 1Q 17															
19 2Q 27															
8 3Q 20															
12 4Q 18															
-OT1-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	泉水 葵衣	3		1	1	2	4	*	小池 昌鈴	28	3	8	3	4
5		梅村 真彩	4	1		1	4	5	*	田原 莉桜	6		3		2
6	*	山川 心美	10	2	2		4	6		平田 咲喜					
7	*	須藤 花音	2		1		4	7	*	中村 莉衣奈	4		2		2
8	*	木澤 真穂	13	1	4	2	3	8		北川 虹					
9		金谷 萌雛						11		中村 綸花	4		2		
10		小暮 ころこ						12		長島 愛実					
11		金谷 彩里						13		菅原 砂音	5		1	3	1
12		丸山 明莉						15		阪本 いろは					
13		鵜殿 琉奈						16		姫路 莉緒	10	1	3	1	1
14		山田 華蓮						17		玖田 小麦					
15		柴田 希羽						18	*	板橋 香苗	10		5		
16		大井 梨紗子						19	*	マリアマ ジャロー	5		2	1	2
17		アイサトウ サンネ						20		西原 舞					
18	*	オラミデ デボラ ジェンファ	23		10	3	3	21		モニカ ジョセフィーヌ	10		4	2	3
合計			55	4	18	7	20	合計			82	4	30	10	15

\* ...スタート

## 戦評

(記録者: 土田 直樹)

ジャンプボール直後、福井工大福井#4のドライブから先制してゲームが始まる。福井工大福井は序盤から#4のドライブなどを含む速い攻撃を仕掛け、着実に得点を積み重ねる。対する新潟産業大付属は、#18を起点として、攻撃を仕掛ける。一進一退の攻防を展開し、1Qは17対16と福井工大福井が1点リードで終える。

2Qに入ると、福井工大福井が激しいディフェンスから主導権を奪う。新潟産業大付属はタイムアウトで流れを断ち切ろうとするが、福井工大福井のトランジションの速さを前に苦戦し、44対35と福井工大福井がリードを広げて前半を折り返す。

3Q、新潟産業大付属は#18を中心に反撃を試みるが、福井工大福井の勢いは衰えない。福井工大福井は強固なディフェンスから素早い速攻へとつなげ、主導権を渡さずリードを広げる。

4Qでも福井工大福井の攻勢は続き、新潟産業大付属は#18の個人技や3Pで必死に猛追するも、点差を縮めるには至らず、最終的に82対55で、福井工大福井が優勝を飾った。両校とも、最後まで果敢にゴールを狙い続け、攻守にわたって素晴らしいパフォーマンスをみせた見事な決勝戦であった。

大会名称: 令和7年度 第57回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山県総合体育センター

試合区分: No. B3 女子 3位決定戦 コミッショナー、TO: 呉羽高等学校

期 日: 2026(R08)年2月8日(日)

主審: 梅田 香

開始時間: 12:30

副審: 北野 建人

終了時間: 14:14

副審: 嘉志摩有希

日本航空石川					○ 72					● 70					東海大学付属諏訪				
					26 1Q 17 23 2Q 17 9 3Q 18 14 4Q 18 -OT1-														
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F				
1		井下 瑚々	19		9	1	2	1	*	清水 玲那	14		6	2	2				
3	*	福里 熙彩	15		6	3	3	6		中澤 さくら									
5	*	高橋 玲央奈	2		1		1	9		中井 咲									
10		高村 莓花						10		石塚 千尋									
11		石立 小羽	5	1		2	2	12	*	浦野 日湖	6		3		1				
12		小林 果歩	7	2		1	1	14	*	渡邊 美優	8		3	2	1				
13		藤田 果奈						15	*	真道 彩花	20		6	8					
15	*	小杉 優衣	2		1			16	*	永山 菜桜	3		1	1	2				
17	*	武川 穩音	8	2		2	2	22		小坂 夏輝									
21		萬正 凜々子						29		鳥羽 陽菜乃									
23	*	ニャーレ アワ	2		1		5	33		中村 愛									
50		及川 乃愛						35		渡邊 綾菜									
62		佐野 央香	12	1	4	1	3	39		渡邊 華穂									
78		棒田 七葉						58		上原 小遥	12	3	1	1	1				
93		加藤 瑠夏						77		宮下 結安	7	1	2		1				
合計			72	6	22	10	19	合計			70	4	22	14	8				

\* ...スタート

## 戦評

(記録者: 西川 智希)

1Qは日本航空石川が#3の得点や#1のゴール下で先行する。対する東海大諏訪は#15のFTやプレスDFで粘りを見せる。互いに激しい守備の応酬となったが、26-17と日本航空石川がリードして1Qを終えた。

2Q、追う東海大諏訪は#15の連続得点で点差を詰めるが、日本航空石川も#12の3Pや#62のバスケットカウントで応戦し主導権を渡さない。終盤、日本航空石川は連続3Pで一気に突き放す。攻守が噛み合った日本航空石川が49-34とリードを広げ、前半を終了した。

3Q、東海大諏訪は#1の連続得点やスティールからの3Pで猛追し、日本航空石川にタイムアウトを取らせる。日本航空石川も#1のバスケットカウントなどで応戦するが、東海大諏訪の勢いは止まらない。堅守からリズムを掴んだ東海大諏訪が58-52と6点差まで詰め寄り、最終クォーターへ突入した。

4Q、日本航空石川がゴール下で加点してリードを広げるが、東海大諏訪はタイムアウト後、#58の3Pや#15のステップインで4点差まで猛追する。勝負所で日本航空石川は#11が3Pを沈めて突き放す。最後までリバウンドを確保し切った日本航空石川が72-70で逃げ切り、激戦を制した。